

第3期大阪市北区地域福祉計画

～次期計画策定に向けて～

令和6年3月

北区役所

次期計画の策定について

- 3つの柱と6つの視点を維持しつつ、今日的な課題について考察していく

第3期 大阪市北区地域福祉計画策定のスケジュールについて

	令和5年度(検証)				令和6年度(策定)												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
工程	検証会議				策定委員会								素案確定	パブコメ		公表	
					地域等からの意見集約・計画書作成												
会議	● 支援連絡会議 2024/3/22				◆ 推進会議	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> ● 支援連絡会議 ◆ 推進会議 の開催 </div>											区政会議

第2期大阪市北区地域福祉計画

基本理念

人と人とのつながりと支え合いのまち北区

～変化する社会に適応した地域づくりをめざして～

大切にしたい視点

6つの視点

新 気にかける
地域づくり

だれもが
「受け手」であり
「担い手」

多様性を理解し
共生する地域

だれもが
つながるまち

団体（地域）や組織
の強みや特性を生
かした交流や連携

ふくしの学びから
生まれた場づくり

令和4年6月30日
付帯決議

取組みの柱

3つの柱

- 【1】 地域でつながり支え合う活動の支援
- 【2】 “きめ細かい”相談・支援の充実
- 【3】 ふくしのまなび

地域でつながり支え合う活動の支援

- 地域での生活課題の発見
 - 課題解決に向けた取り組み
 - 見守り・助け合い活動
 - 誰もがつながり支え合える関係づくり
 - 多様な主体の福祉活動への参画
 - 地域との交流ができる環境づくり
- ◆ 地域福祉活動の推進
 - ◆ 災害や緊急時への備えが充実
 - ◆ 「つながり」の拡充



地域でつながり支え合う活動の支援

主な取り組み

①地域課題の解決に向けた取り組み

- ・小地域福祉活動計画に基づく活動の推進
- ・交流の場や居場所づくりを推進
- ・マンションコミュニティの活性化
- ・区民へ情報提供を促進
- ・地域福祉に関する人材育成など

②災害時にも支え合えるつながりづくり

- ・見守り活動の推進、災害時の避難支援
- ・災害時等の要援護者支援の取り組み強化
- ・災害時における関係機関等との連携
- ・災害ボランティアセンターの啓発、
- ・災害ボランティアの育成

③地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進

- ・多様な主体との関係づくり
- ・企業との公民連携
- ・地域福祉の視点の啓発活動・情報提供
- ・フードドライブ、フードパントリー支援の充実



“きめの細かい”相談・支援の充実

- 社会的な孤立の防止、情報提供の推進
- 相談体制の充実、効果的な情報発信
- 制度の狭間、複合的な課題を抱えた世帯の支援
- 施策横断的な課題解決に向けた取り組み

▼将来イメージ▼

- 福祉的な活動が増加し、包括的な相談支援体制が進む
- 虐待防止、判断能力不十分な人への対応が進む
- 子ども・青少年が暮らしやすい取り組みが進む



“きめの細かい”相談・支援の充実

主な取り組み

①相談支援体制の充実

- ・CSW、SSW、地域福祉コーディネーターの配置、身近な相談窓口機能の強化
- ・包括的な支援について、関係機関等と連携
- ・情報発信強化

②安心して暮らすことのできる支援の充実

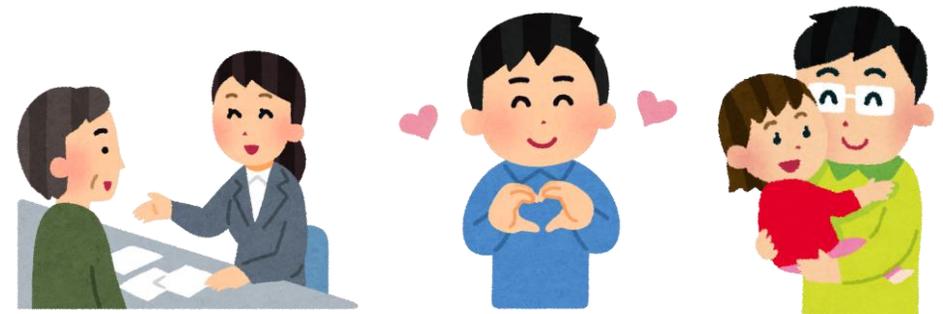
- ・福祉コミュニティづくりの継続
- ・区民のサロン活動等の支援
- ・ふれあい喫茶等の小地域福祉活動や健康増進活動への支援
- ・相談支援機関や事業者等との連携、相談・支援の充実
- ・障がいに関する専門機関との連携強化
- ・当事者の自発的・自主的な活動を支援、地域において参加できる場づくりの推進
- ・認知症相談窓口の周知、認知症に関する正しい知識の普及・啓発等
- ・取り組みや相談窓口等の情報を、マンション等と連携し周知

③虐待防止と権利擁護支援の強化

- ・虐待の早期発見に向けた啓発
- ・関係機関連携、ネットワークづくりの推進
- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業の周知と利用促進 など

④子ども、青少年が健やかに育つための支援の充実

- ・安心して子どもを産み育てられる地域の取り組みの支援
- ・支援機関の連携
- ・子育てに関するさまざまな制度や取り組みの充実と情報発信



ふくしのまなび

- 福祉意識の向上、地域福祉への理解促進
- 一人ひとりの人権を尊重し、共生していくことのできる地域づくり
- 地域活動の推進の人材育成・確保



▼将来イメージ▼

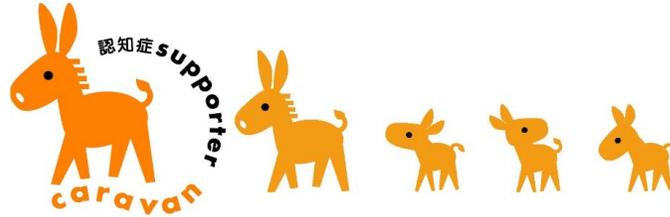
- 区民の地域福祉への関心度が高まり、情報伝達スピードが向上する
- 地域福祉活動への参加者増加し、活動の活発化

ふくしのまなび

主な取り組み

①福祉マインド(意識)の向上

- ・福祉教育の推進
- ・認知症サポーター養成講座
- ・情報発信の強化
- ・多様性を尊重し、認め合い、ともに暮らす地域づくりを考える場づくり
- ・生活課題について、我が事・丸ごとで受け止め、自発的な活動を推進する



②福祉人材の育成支援

- ・ボランティア・市民活動の相談窓口の充実
- ・地域の住民の地域福祉活動への参画
- ・認知症への理解や取り組みを進めている企業や団体を増やす取り組み
- ・認知症の人にやさしいまちづくり
- ・福祉教育・ボランティア学習のプログラムの充実
- ・近隣の大学・専門学校などと連携し、ボランティア活動への参画推進
- ・若年世代のボランティア活動への参加促進
- ・同世代が抱える課題の共有、課題解決力の向上

